

ねこ ねずみ お わけ
猫が鼠を追いかける訳

むかしむかし、人間も生まれていない、大むかしのある年の暮れのことです。

かみさま どうぶつ い
神様が、動物たちに言いました。

「もうすぐ正月だ。元旦には、みんな私の所に来なさい。そして、先に来た者から十二番目までを、その年の大将としよう。」

ところが、うっかり者の猫は集まる日を忘れたので、友達の鼠に聞きました。

すると、鼠は「ああ、新年の二日だよ」と、わざと嘘を教えました。

さて、元旦になりました。

うし あし おそ あさはや いえ で
牛は足が遅いので、朝早くに家を出ました。

ちやっかり者の鼠は、こっそり牛の背中に乗って神様の前に来ると、ピョンと飛び降りて一

番最初に神様の前に行きました。それで鼠が最初の年の大将になり、牛が二番目になりました。

その後、とら うさぎ たつ へび うま ひつじ さる にわとり いぬ いのしし じゆん
虎、兎、龍、蛇、馬、羊、猿、鶏、犬、猪の順になりました。

ところが猫は、鼠に教えられた通り、二日に神様の所へ行きました。すると神様は、「遅か

ったね。残念だけど、昨日決まったよ」と、言うのではありませんか。

くや ねずみ だま
悔しいのなんの。「鼠め、よくも騙したな！」

おこ ねこ ねずみ み お
怒った猫は、それからずっと、鼠を見ると追いかけるようになりました。